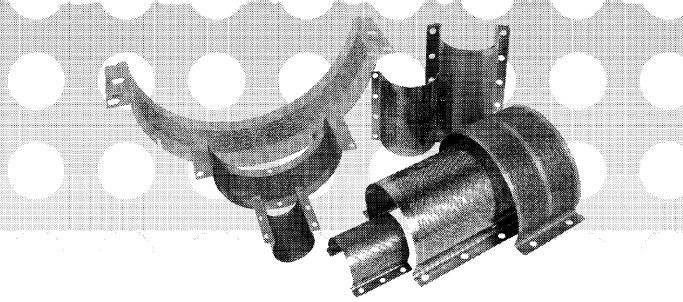


粉碎・造粒・攪拌用には 実績と信頼の布引スクリーンを!



布引製作所は精密打抜スクリーンの専門メーカーとして、
多様化するニーズに全力でお応えしています。

株式会社布引製作所

■本社・工場 〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町2-16-24 ☎078-431-1105(代)
■東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-8-4 ☎03-3350-1808
近鉄新宿御苑ビル302

URL <https://www.nunobiki-s.co.jp> E-mail nss@nunobiki-s.co.jp

より細かく、
より効率よく、
より地球に優しく。

ビーズミルで高品質な微細化を実現

対象物 無機物

3ミクロン → 50ナノ

Ashizawa
ビーズ分離能力強化型 減速ビーズミル
ムゲンプロ-
詳細は
こちら

見えないことで、未来を拓く
アシザワ・ファインテック株式会社
〒275-8572 千葉県習志野市西浜1-4-2 TEL 047-453-8111

融合と革新で産業を支える

粉体技術

FOOMA JAPANに見た 粉体機器メーカーの動向

粉体技術は、産業の根幹を支える重要な分野だ。粉砕・分級・ふるい分け、計量・計測、造粒・粒子設計などさまざまな単位プロセスを包含し、その応用範囲は食品や医薬品といった私たちの生活必需品から、省エネルギーや脱炭素社会の実現に向けた先端産業にまで及んでいる。近年、技術革新が加速し、粒子の微細化などに伴う研究が進展する一方、装置やシステムの高度化も著しい。デジタル変革（DX）やAIの導入により、プロセスの効率化や品質管理の精度が飛躍的に向上している。さらに、自動化・ロボット化への積極的な取り組みも相まって、産業界全体の発展をけん引する重要な要素となっている。粉体技術の進化が未来を変えていく。

省力化・省人化は必須

6月10・13日、東京を注いでいた。
・有明の東京ビッグサイトで開催された「2025年世界最大規模の食品製造総合展 FOOMA JAPAN 2025」が開かれた。業界に向け、どのような提案をしているのか、会場でも多くの出展社が注目を集めていた。1007社。雨の影響もあって2024年に比べて約11万人が来場した。食品業界においても、今回のFOOMA喫緊の課題は人手不足が初出展という要素が対策だ。各企業ブースには省人化、省力化を謳う展示が目立ち、混練機をアビールの「食品メーカーのド」という赤武エンジニアリングは、人手不足が深刻な問題であることがうかがえた。また現場のクリン化、異物混入対策、安全対策なども注目の的。出展企業はユーザーの課題解決につながる自社技術の提案に力を入れている。安全化、異物混入対策、省人化、省力化を謳う展示が目立ち、混練機をアビールの「食品メーカーのド」という赤武エンジニアリングは、人手不足が深刻な問題であることがうかがえた。また現場のクリン化、異物混入対策、安全対策なども注目の的。出展企業はユーザーの課題解決につながる自社技術の提案に力を入れている。

安全性を高める

「省人化、異物混入対策、省人化、省力化を謳う展示が目立ち、混練機をアビールの「食品メーカーのド」という赤武エンジニアリングは、人手不足が深刻な問題であることがうかがえた。また現場のクリン化、異物混入対策、安全対策なども注目の的。出展企業はユーザーの課題解決につながる自社技術の提案に力を入れている。安全化、異物混入対策、省人化、省力化を謳う展示が目立ち、混練機をアビールの「食品メーカーのド」という赤武エンジニアリングは、人手不足が深刻な問題であることがうかがえた。また現場のクリン化、異物混入対策、安全対策なども注目の的。出展企業はユーザーの課題解決につながる自社技術の提案に力を入れている。

世界を見据える

「多品種適量生産が進み、労働生産性の向上が求められている」「ツカサ工業の上」
「生産ラインのDX（生産現場のデジタル化）」
「中国も急速に生産性向上を進めている。食料分野も人が足りなくなっている」と話す。
「粉体技術はニッチだが裾野が広い。業績は安定している。この中でフラスアルファに取組んでいる。市場は日本だけでなく欧米もある。まだまだ成長が見込める面白い業界」と力を込めた。

ヒーター応用例 Heater Application example

えっ! こんな所に O&Mヒーター

集塵機ホッパー (粉体除湿用)

サイズも形状も自由自在

- ・表面温度200℃まで可能です。
- ・柔軟性があり、軽量タイプです。
- ・1枚からオーダーメイド承ります。

容器の材質に応じてマグネットタイプもご用意しています。

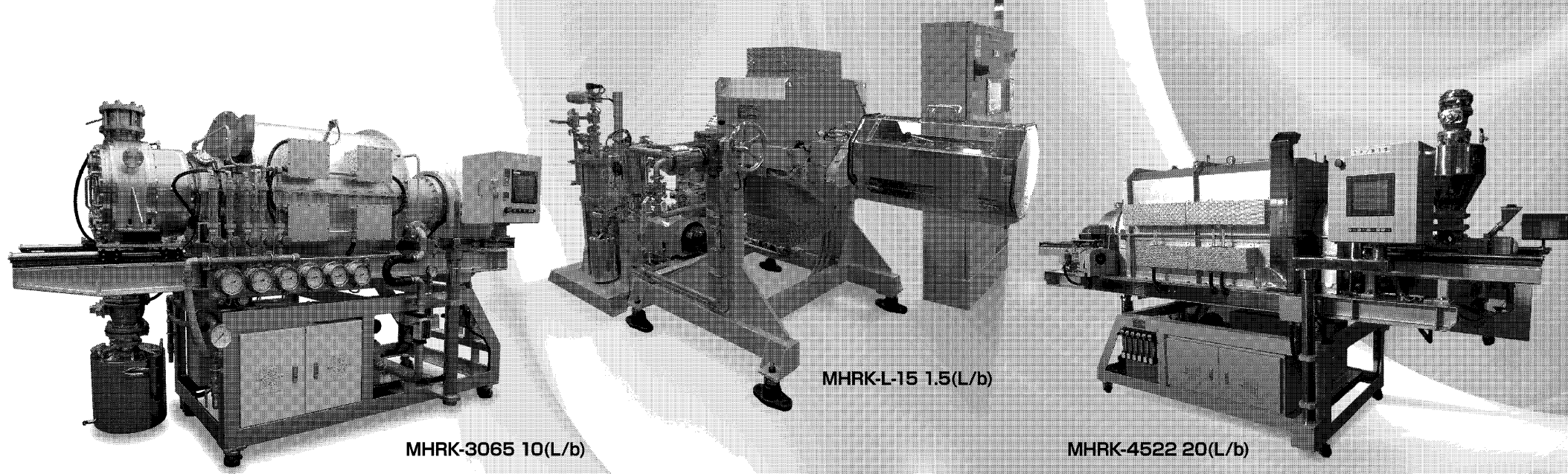
オームヒーター株式会社 ☎0120-800-255
<https://www.om-heater.jp> TEL (052) 804-3140 FAX (052) 804-3146

多目的水素ロータリーキルン

MULTIPLE HYDROGEN ROTARY KILN

多目的水素ロータリーキルン (Multiple Hydrogen Rotary Kiln) は高温・高真空 (ガス) 雰囲気下において、多種パラメーター (温度勾配・ガス分圧調整・分解ガス放散条件・真空排気等) を容易に制御・管理することを可能にしたバッチ連続式焼成装置です。磁性材料の特性向上や発泡原としての水素吸蔵金属・水素脆性金属の脱水素処理などの高性能材料の実用面での開発をサポートします。
また、純O₂やN₂による強制酸化や窒化処理にも対応可能です。

- ラボ試験用の小型タイプを新規ラインアップ。省スペースで、新素材開発の試験や小規模生産が可能。
- 金属の還元処理
- 水素吸蔵金属の脱水素処理
- 希土類金属などの水素脆性処理
- 高温下での純O₂による酸化やN₂窒化処理に対応



テスト受付中

◆ 本社工場に、テスト機常設。試験承ります。
◆ お問い合わせはこちらまで。

info@e-sugiyama.co.jp

オンライン立会試験も可能です。

響いてこそ技術

SINFONIA

バッチ式

振動乾燥装置

液状ワークを密閉状態で加熱し、
粉体と気体に分離させ自動排出可能！

電池材料などの製造に最適！

液状ワークの乾燥に最適

シンフォニア テクノロジー 株式会社

振動機営業部

振動搬送機器

検索

東京本社

03-5473-1835

03-5473-1847

105-8564

東京都港区芝大門 1-1-30 芝タワー

大阪支社

06-6365-1927

06-6365-1988

530-0057

大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル 13 階

名古屋支社

052-581-9431

052-582-9667

451-0045

名古屋市中区名駅 1-1-17 名駅ダイヤメイテツビル

KATSUKAWA

Global Technology

全ての産業を支える熱交換技術

半導体
化学分野

自動車

食品
医薬品

各種
産業分野

液晶パネル／フィルム業界における各種
製造ライン内に熱交換器は必要不可欠で
す。また、ライン内において温度／湿度の
調整も自在に設計しております。

自動車の塗装ブースにおける乾燥ラインに
熱交換器を提供しております。また、ガス等
に含まれる溶剤の改修を有効的に行うため
に熱交換器を使用されています。

食品の乾燥／水切り／液体の濃縮ライン等
に多数納入しております。又その過程段階で
発生する高温のガス等を有効利用しECO対
策として温水等に変換し熱を有効に利用さ
れているお客様も近年増加傾向にあります。

熱交換器はあらゆる分野において必要不可
欠な製品です。勝川熱工では年間1万台以上
の製品を出荷し数千社のお客様からご命命
を頂いております。

産業用熱交換器専門メーカー

勝川熱工株式会社

本社

〒578-0903 大阪府今米2丁目8番9号
TEL:072(966)2751(代) FAX:072(966)3056
E-mail:info@katsukawa.co.jp
https://www.katsukawa.co.jp

営業部・工場

〒578-0921 大阪府東大阪市水走5丁目2番32号
TEL:072(967)2255 FAX:072(967)2256

融合と革新で産業を支える

粉体技術

POWTEX2025

10月開催

日本粉体工業技術協 井寿雄会長）は10月15
会（京都市下京区、角 17の3日間、大阪市
住之江区のインテック
ス大阪で「POWTEX
2025」国際粉体
工業展大阪を開く。
テーマは「未来をつく
るPX（パウダー・
テクノロジー・トラ
ン）」。開催中の「2
025年大阪・関西万
博」にちなんで、サブ
テーマに「粉体技術で
描く未来社会のデザイ
ン」を掲げる。
POWTEXは粉
砕・ふるい分け、混合
・混練などの製造フロ
ードを、計装・測
定、ラボ機器などが一
定に集まる。今回は2
00社、600小間規
模での開催を予定す
る。また医薬品や電池な
る。

2025年度事業を決定

日本粉体工業技術協
会（京都市下京区、角
井寿雄会長）は5月27
日、東京都内で定時総
会を開き、2025年
度の事業計画を決め
た。本年度は新たに策
定した27年度末までの
「第4期中期運営計
画」の初年度にあたり
、中計で掲げた重点
活動目標をベースに活
動する。
調査・研究事業では
技術分野ごとに設置し
ている分科会の組織と
運営の充実を支援す
る。粉体ハンドリング
技術誌「粉体技術」や
5では「技術相談コー
ナ」も開設して大学
や公的機関の研究者が
企業からの相談に応じ
る。産業連携におい
ては産学技術交流推進
部門がホームページ上
で粉体技術の相談を受け
付け、大学や研究機関
に橋渡しする取り組み
も継続する。
海外交流事業では本
年度のPOWTEX2
025で海外情報セミ
ナーを開催するほか、
7月に中国・上海で開
かれる展示会「IPB
2025」、9月に
ドイツ・ニュルンベル
クで開かれる「POW
TECH」にブースを
出展する予定。
日本粉体工業技術協
会が粉体関連技術の開
発や普及を通して関連
産業の発展に貢献する
ことを目的としてお
り、法人、個人合わせ
て400以上の会員を
抱える。新中計は分科
会や各種セミナー、P
OWTEXの進化など
を通して会員企業の満
足度を高めるほか、広
報普及活動強化して
協会の知名度を向上。
組織や人材面などで運
営を強化することを目
標にする。

革新的なデザインの高性能ビーズミル
ナノ領域の湿式分散において高効率を発揮します

DYNO®-MILL ECM-AP

ダイノミルECM-APIは、新開発のDSE-アクセルレーターとビーズ分離機構により、
従来機に比べさらに処理液の高流量での運転、高粘度への対応を可能にしました。
また0.1mmまでの微小ビーズが使用でき、最高水準のナノ分散プロセスを実現します。

分散技術の最先端を見つめています

株式会社 シンマル エンタープライゼス

〒590-0985 堺市堺区戎島町4丁45-1 ホテルアゴーラリージェンシー大阪10階 ☎072(228)1101 代 FAX072(227)1498
東京営業所 〒105-0014 東京都港区芝3丁目17-10 高波マンション103号 ☎03(3453)7280 代 FAX03(3798)1924

URL <https://www.shinmaru-e.com>

全量回収型遠心分離機

FLOWM
フローム

結晶の破碎なく全自動・全量回収
確実なケーキ洗浄
安全性を考慮した封じ込めにも最適
加圧することにより結晶の含水率軽減
機械前部のみクリーンルームに設置可能
濾過抵抗の原因となりうる残結晶なく、
毎パッチ同条件で分離可能

仕様例：ドラム内径：400mm
最大処理量：20ℓ
最高回転数：3000min⁻¹

他サイズ、材質はお問い合わせください。

You Tubeで機械動画をご覧ください

松本 全量回収

詳細はお問い合わせくださいませ。

ISO9001取得により機器の性能・品質システムの充実に取り組んでいます。

本 社 〒590-0906 大阪府堺市堺区三宅町6丁326番地 ☎072(221)6622 代 FAX072(222)1921
東京営業所 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-14-9 三宅本社ビル6階 ☎03(5801)9925 代 FAX03(5801)9928
富山営業所 〒939-8211 富 山 市 二 口 町 5-4-1 ティス D ☎076(495)8488 代 FAX076(495)8668

松本機械販売株式会社
MATSUMOTO MACHINE SALES CO.,LTD.
<https://mark3.co.jp/>

KURIMOTO

乾式攪拌ミル

-Dry Agitating Mill-

超微粉碎堅型ビーズミル

機構動画

ビーズの高速攪拌でシングルミクロン領域まで粉碎
分級機との組み合わせでさらに細かい粒度にも対応

投入方式：センターチャージ

ショートパス抑制

粉体が確実に粉碎ゾーンを通過し
未粉碎の粒子を抑制できます

排出方式：エアスウェプト

付着・凝集防止

空気搬送で粉碎品を即座に排出
機内付着や凝集を防止できます

株式会社 栗本鐵工所

◆機械システム事業部 粉体プロセス本部 粉体プロセス技術営業部
住吉工場 〒559-0021 大阪府住之江区柴谷2丁目8番45号 TEL:06-6686-3224

◆機械システム事業部
本社 〒550-8580 大阪府西成区北堀江1丁目12番19号 TEL:06-6538-7681
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 TEL:03-3450-8571